

- 新潟, 2006. 4.16.
- 4) 本多忠幸, 木下秀則, 瀬尾憲司, 豊里 晃, 田中裕, 石井多恵子, 倉田行伸, 清野宏幸: 第20回新潟大学 BLS/AED 講習会, 新潟, 2006. 5.20.
 - 5) 本多忠幸, 木下秀則, 瀬尾憲司, 豊里 晃, 田中裕, 石井多恵子, 倉田行伸, 清野宏幸: 第21回新潟大学 BLS/AED 講習会, 新潟, 2006. 6.17.
 - 6) 瀬尾憲司: AHA BLS プロバイダーコース 講師参加, 新潟, 2006. 6.25.
 - 7) 染矢源治, 瀬尾憲司, 豊里 晃, 田中 裕, 石井多恵子, 前川孝治, 倉田行伸, 清野宏幸: 新潟県歯科医師会主催 救急講習会 (講師), 新潟, 2006. 7. 2.
 - 8) 本多忠幸, 木下秀則, 瀬尾憲司, 豊里 晃, 田中裕, 石井多恵子, 倉田行伸, 清野宏幸: 第22回新潟大学 BLS/AED 講習会, 新潟, 2006. 7.22.
 - 9) 染矢源治, 瀬尾憲司, 豊里 晃, 田中 裕, 石井多恵子, 前川孝治, 倉田行伸, 清野宏幸: 松村歯科医院救急講習会 (講師), 新潟, 2006. 8.19.
 - 10) 本多忠幸, 木下秀則, 瀬尾憲司, 豊里 晃, 田中裕, 石井多恵子: 第23回新潟大学 BLS/AED 講習会, 新潟, 2006. 9.16.
 - 11) 染矢源治, 瀬尾憲司, 豊里 晃, 田中 裕, 石井多恵子: 福島県耶麻歯科医師会主催救急講習会 (講師), 福島, 2006. 9.16.
 - 12) 瀬尾憲司: 第10回新潟神経内科シンポジウム「痛みの神経学～基礎から臨床まで」(座長), 新潟, 2006. 9.30.
 - 13) 本多忠幸, 木下秀則, 瀬尾憲司, 豊里 晃, 田中裕, 石井多恵子, 倉田行伸, 清野宏幸: 第24回新潟大学 BLS/AED 講習会, 新潟, 2006.10.21.
 - 14) 本多忠幸, 木下秀則, 瀬尾憲司, 豊里 晃, 田中裕, 石井多恵子, 倉田行伸, 清野宏幸: 第25回新潟大学 BLS/AED 講習会, 新潟, 2006.11.18.
 - 15) 本多忠幸, 木下秀則, 瀬尾憲司, 豊里 晃, 田中裕, 石井多恵子, 倉田行伸, 清野宏幸: 第26回新潟大学 BLS/AED 講習会, 新潟, 2006.12.16.
 - 16) 田中 裕: 新潟大学医歯学総合病院衛生士研修会講演, 「精神疾患のある患者の対応について」, 新潟, 2007. 1.17.
 - 17) 本多忠幸, 木下秀則, 瀬尾憲司, 豊里 晃, 田中裕, 石井多恵子, 倉田行伸, 清野宏幸: 第27回新潟大学 BLS/AED 講習会, 新潟, 2007. 1.20.
 - 18) 本多忠幸, 木下秀則, 瀬尾憲司, 豊里 晃, 田中裕, 倉田行伸, 清野宏幸: 第28回新潟大学 BLS/AED 講習会, 新潟, 2007. 2.17.
 - 19) 瀬尾憲司: 救急講習会 (講師), 上越, 2007. 2.23.
 - 20) 瀬尾憲司, 豊里 晃, 田中 裕, 清野宏幸: ファイザー製薬主催テレビシンポジウム (参加), 新潟, 2007.

3. 8.

- 21) 本多忠幸, 木下秀則, 瀬尾憲司, 豊里 晃, 田中裕, 倉田行伸, 清野宏幸: 第29回新潟大学 BLS/AED 講習会, 新潟, 2007. 3.17.
- 22) 倉田行伸: BLS ヘルスケアプロバイダー資格取得 (AHA 新潟トレーニングサイト), 新潟, 2007. 3.24.

口腔生命福祉学科

【論文】

- 1) Akihiko Iida, Shota Narai, Ritsuo Takagi, Kazuhiro Ono, Nobuyuki Ikeda: Blepharo-Cheilo-Dontic (BCD) Syndrome: Case Report. *Cleft Palate-Craniofacial Journal*, 43: 237-243, 2006.
- 2) Akiko Suzuki, Kayoko Nozawa-Inoue, Norio Amizuka, Kazuhiro Ono, and Takeyasu Maeda: Localization of CD44 and hyaluronan in the synovial membrane of the rat temporomandibular joint. *The anatomical record part A* 288A: 646-652, 2006.
- 3) Han L, Okamoto A, Fukushima M, Okiji T: Evaluation of a new fluoride-releasing one-step adhesive. *Dent. Mater. J.*, 25:509-515, 2006.
- 4) Atsuko Igarashi, Naoko Kato, Mamoru Watanabe, Kayoko Ito, Hideyuki TakeishiSaori Funayama, Shuichi Nomura, Hideo Miyazaki: The investigation of Drug-intake and Serum Zinc Level in 414 Elderly aged 75 Years. *Jp. J. Gerodontology*, 21: 35-40, 2006.
- 5) T.Hirotomi, A.Yoshihara, H.Ogawa, K.Ito, A.Igarashi H.Miyazaki:A preliminary study on the relationship between stimulated saliva and periodontal conditions in community-dwelling elderly people. *J of Dentistry*, 34: 692-698, 2006.
- 6) Kaori Sugita, Makoto Inoue, Sachiko Ootaki, Hiroshige Tanigichi, Atsuko Igarashi, YoshiakiYamada: Effects of Food Consistency on Tongue Pressure during Swallowing. *J. of Oral Biosciences*, 48: 278-285, 2006.
- 7) Atsuko Igarashi, Mamoru Watanabe, Kayoko Ito, Saori Funayama, Yasumasa Hitomi:The taste of saliva in the taste disorder patients(spontaneous abnormal taste sensation) An investigation using a taste sensor. *Chemical Senses*, 32: 15-16, 2007.
- 8) Yozo Miyaoka, Ichiro Ashida, Shin-ya Kawakami, Satomi Miyaoka, Atsuko Igarashi, Yoshiaki Yamada: Age-related influences of activity patterns in the suprahyoid muscles during Swallowing : Preliminary analysis. *J Sensory*

- Studies, in press.
- 9) Tomizawa M, Sano T, Noda T: Oral conditions in Japanese infants: A retrospective study. *Ped Dent J*, 17: 65-72, 2007.
 - 10) Amanuma R, Nakajima T, Yoshie H, Yamazaki K.: Increased Infiltration of CD1d⁺ and NKT Cells in Periodontal Disease Tissues. *J Periodont Res*, 41 : 73-79, 2006.
 - 11) Honda T, Domon H, Okui T, Kajita K, Amanuma R, Yamazaki K. : Balance of inflammatory response in stable gingivitis and progressive periodontitis lesions. *Clin Exp Immunol*, 144 : 35-40, 2006.
 - 12) Gemmell E, Yamazaki K, Seymour GJ. : The role of T cells in periodontal disease: homeostasis and autoimmunity. *Periodontology* 2000, 43 : 14-40, 2007.
 - 13) Kajita K, Honda T, Amanuma R, Domon H, Okui T, Ito H, Yoshie H, Tabeta K, Nakajima T, Yamazaki K. : Quantitative messenger RNA expression of Toll-like receptors and interferon- α 1 in gingivitis and periodontitis. *Oral Microbiol Immunol*, in press.
 - 14) Okui T, Ito H, Honda T, Amanuma R, Yoshie H, Yamazaki K. : Characterization of CD4⁺FOXP3⁺ T-cell clones established from chronic periodontitis lesions. *Oral Microbiol Immunol*, in press.
 - 15) Nohno K, Sakuma S, Koga H, Nishimuta M, Yagi M, Miyazaki H.: Fluoride intake from food and liquid in Japanese children living in two areas with different fluoride concentrations in the water supply. *Caries Res*, 40 : 487- 507, 2006.
 - 16) 小野和宏, 大内章嗣, 魚島勝美, 林 孝文, 西山秀昌, 安島久雄, 小林正治, 瀬尾憲司, 齋藤 功, 程 王君, 山田好秋, 前田健康: 歯科医学教育へのPBLチュートリアルの導入-新潟大学歯学部の試み-. *日本歯科医学教育学会雑誌*, 22: 58-71, 2006.
 - 17) 高木律男, 福田純一, 小野和宏, 飯田明彦, 朝日藤寿一, 寺田員人, 齋藤 功: Hotz床併用二段階口蓋形成法の長期予後-片側症例の成長終了時側面頭部エックス線規格写真による評価-. *日本口蓋裂学会雑誌*, 31: 245-252, 2006.
 - 18) 小林哲夫, 魚島勝美, 藤井規孝, 中島貴子, 石崎裕子, 小野和宏, 宮崎秀夫: 本院臨床研修歯科医採用試験におけるミニワークショップの効果. *日本歯科医学教育学会雑誌*, 22: 281-288, 2006.
 - 19) 石川裕子, 小野和宏, 大内章嗣, 福島正義, 山崎和久, 富沢美恵子: 学士課程の専門教育における問題基盤型学習(PBL)の導入と口腔生命福祉学科カリキュラムの構築. 2005年度歯科衛生士専任教員秋期学術研修会報告集: 1- 6, 2006.
 - 20) 武井典子, 渋谷耕司, 福島正義, 岩久正明: 某大手企業勤務者の口腔の現状に対する満足度について. *歯科審美*, 19: 19-27, 2006.
 - 21) 福島正義: 審美歯科関係外来紹介/新潟大学医歯学総合病院歯科 変色歯外来. *歯科審美*, 19: 51, 2006.
 - 22) 韓 臨麟, 岡本 明, 石崎裕子, 福島正義, 興地隆史: フッ化物徐放性合着用セメントに関する研究-セメント表面の構造変化および歯質被着面に与える影響について-. *日歯保存誌*, 49 : 617-624, 2006.
 - 23) 浅井哲也, 風間龍之輔, 興地隆史, 福島正義: 歯科用CAD/CAM CEREC3により製作されたラミネートベニア修復物の適合性. *接着歯学*, 24 : 179-184, 2006.
 - 24) 藤沢直子, 鈴木昭, 馬場菜緒, 堀井愛子, 笠井友治郎: 児童相談所は地域に何を伝えどのように連携していくか(第2報)-暗黙知から形式知へ-. *子どもの虐待とネグレクト*: 9. 2007.8. 受理. 投稿中
 - 25) 五十嵐 敦子, 渡部 守, 中野美智江, 伊藤加代子, 船山さおり, 人見康正, 山田好秋: 味覚障害患者(自発性異常味覚)の唾液の味について——味覚センサーによる検討——. *日本味と匂学会誌*, 13:175-180, 2006.
 - 26) 伊藤加代子・五十嵐敦子: 女性におけるドライマウスの治療に関する検討. *更年期と加齢のヘルスケア*, 5: 51-55, 2006.
 - 27) 五十嵐敦子: 加齢と味覚障害 “味がわからない——あなたは大丈夫?”: 更年期と加齢のヘルスケア, 5: 198-204, 2006.
- 【著書】**
- 1) 小野和宏: 顎顔面の損傷(古森孝英編). *医療従事者のための口腔外科学*, 72-81頁, 永末書店, 東京, 2006.
 - 2) 小野和宏: 歯の脱臼および歯槽骨骨折の処置(古森孝英編). *医療従事者のための口腔外科学*, 245-247頁, 永末書店, 東京, 2006.
 - 3) 小野和宏: 顎骨骨折の処置(古森孝英編). *医療従事者のための口腔外科学*, 248-251頁, 永末書店, 東京, 2006.
 - 4) 小野和宏: 骨折観血的整復術(古森孝英編). *医療従事者のための口腔外科学*, 279-281頁, 永末書店, 東京, 2006.
 - 5) 小野和宏: 歯科医学教育へのPBLの導入-新潟大学

- の試み - (岐阜大学医学教育開発研究センター編). 新しい医学教育の流れ'05春 第16回医学教育セミナーとワークショップの記録, 79-80頁, 三恵社, 名古屋, 2006.
- 6) 福島正義: 監修 田上順次, 千田 彰, 奈良陽一郎, 桃井保子: 第三版 保存修復学 21, 44-59頁, 永末書店, 東京, 2006.
 - 7) 福島正義: 宮崎 隆, 中畷 裕, 河合達志, 小田豊編: 臨床歯科理工学, 108-121頁, 医歯薬出版, 東京, 2006.
 - 8) 福島正義: 日本歯科医学教育学会 歯科医学教育白書作成委員会編集: 歯科医学教育白書 2005年版 (2003~2005年), 日本歯科医学教育学会雑誌別冊, 口腔保健協会, 東京, 2006.
 - 9) 福島正義: 松村英雄, 田上順次監修: 別冊 the Quintessence / Year Book 2006, 歯科臨床を支える“接着”のエビデンスとテクニック, 分担執筆 157-163頁, クインテッセンス出版, 東京, 2006.
 - 10) 福島正義, 日野浦 光編集: デンタルハイジーン別冊 / ミニマルインターベンションによるカリエスコントロール, 医歯薬出版, 東京, 2006.
 - 11) 山崎和久, 中島貴子: 歯周病と7つの病気 (吉江弘正, 高柴正悟 編著). 2章 7つの病気 3. 狭心症・心筋梗塞 (虚血性心疾患), 52-71頁, 永末書店, 京都, 2007.
 - 12) 山崎和久: 臨床歯周病学 (吉江弘正, 伊藤公一, 村上伸也, 申基喆 編著). 2編ベーシック編 第1章 歯周組織の病理変化, 148-157頁, 医歯薬出版, 東京, 2007.
 - 13) 五十嵐敦子: 高齢者の味覚と生きがい (新潟発 福祉学) 25 - 26頁, 新潟大学歯学部口腔生命福祉学科 新潟 2006.
 - 14) 隅田好美: 介護における口腔ケアの実際. 新潟大学大学院医師学総合研究科ブックレット新潟大学編集委員会編, 『食べる』一介護編, 20-25頁, 新潟日報事業者, 新潟, 2006.
 - 15) 八木 稔: 齲蝕のリスクファクターとは (福島正義, 日野浦 光編). ミニマルインターベンションによるカリエスコントロール. 38-40頁, 医歯薬出版株式会社, 東京, 2006.
 - 16) 八木 稔: 「環境 (砂糖)」のリスクへのアプローチ (福島正義, 日野浦 光編). ミニマルインターベンションによるカリエスコントロール. 54-57頁, 医歯薬出版株式会社, 東京, 2006.
- 1月号, 30-31頁, (株)法研, 2006.
- 2) 韓 臨麟, 福島正義: 臨床トビックス / エナメルエッチング法を見直す, 歯界展望, 108, 153-161頁, 2006.
 - 3) 福島正義: 市民への情報伝達考 / 欠けた歯を治したい, 日本歯科評論, 66(8): 13-15頁, 2006.
 - 4) 韓 臨麟, 福島正義, 興地隆史: フロアブルレジンの臨床応用について, 日本歯科評論, 66(9), 155-159頁, 2006.

【研究成果報告書】

- 1) 眞木吉信, 福島正義: フッ化物徐放性ワンステップ接着システムに関する研究. フッ化物応用による歯科疾患の予防技術評価に関する総合的研究, 厚生労働科学研究費補助金 (医療技術評価総合研究事業, H15-医療-020), 2006年4月
- 2) 福島正義: 歯科臨床系基礎実習におけるミラーテクニックの修得および客観的技能評価のための人工歯モデルの導入, 新潟大学大学教育開発研究センター・大学教育研究年報第12号, 2007年3月発行
- 3) 小林修平: 地域住民の口腔保健と全身的な健康状態の関係についての総合的研究 (H16—医療—020) 五十嵐 敦子, 船山 さおり, 伊藤加代子, 渡部守, 人見康正: 高齢者の唾液分泌動態と服薬状況について, 平成17年度厚生労働科学研究費補助金, 2006
- 4) Stegaroiu Roxana: 鑄造ポストに比べてグラスファイバー強化型複合レジン・ポストの支台築造は残存歯質が少ない歯根の寿命を延ばせるか? - 反復荷重による歯根損傷の比較検討 - 平成17年度新潟大学プロジェクト推進経費 (若手研究者奨励研究) 2006年.
- 5) 小林清吾, 八木 稔, 佐久間汐子, 眞木吉信: フロリデーションに関する住民学習活動-1-下仁田町における歯科保健政策立案の経緯, 「フッ化物応用による歯科疾患の予防技術評価に関する総合的研究」平成17年度研究報告書, 95-98, 厚生労働科学研究 (H15-医療-020), 2006年.
- 6) 小林清吾, 八木 稔, 佐久間汐子, 眞木吉信: フロリデーションに関する住民学習活動-2-フロリデーションの学習媒体, 「フッ化物応用による歯科疾患の予防技術評価に関する総合的研究」平成17年度研究報告書, 99-111, 厚生労働科学研究 (H15-医療-020), 2006年.
- 7) 小林清吾, 八木 稔, 佐久間汐子, 眞木吉信: フロリデーションに関する住民学習活動-3-強い歯を育む住民学習活動の実績, 「フッ化物応用による歯科疾患の予防技術評価に関する総合的研究」平成

【商業誌】

- 1) 福島正義: 健康相談室 “子供のころから歯が白とうす茶のまだらに担っている”, すこやかファミリー,

- 17年度研究報告書, 113-116, 厚生労働科学研究(H15-医療-020), 2006年.
- 8) 小林清吾, 八木 稔, 佐久間汐子, 眞木吉信: フロリデーションに関する住民学習活動-4-住民の知識・意識調査, 「フッ化物応用による歯科疾患の予防技術評価に関する総合的研究」平成17年度研究報告書, 117-121, 厚生労働科学研究(H15-医療-020), 2006年.
- 9) 眞木吉信, 荒川浩久, 八木 稔: 「フッ化物歯面塗布実施マニュアル」の原案作成, 「フッ化物応用による歯科疾患の予防技術評価に関する総合的研究」平成17年度研究報告書, 123-131, 厚生労働科学研究(H15-医療-020), 2006年.

【講演・シンポジウム】

- 1) Yamazaki K, Domon H, Honda T: Early and preferential induction of IL-1 receptor-associated kinase-M in THP-1 cells by lipopolysaccharide derived from Porphyromonas gingivalis. Invited Oral Presentation, Gordon Research Conference on Periodontal Diseases, Il Ciocco, 2006. 6. 8.
- 2) Yamazaki K: Autoimmune response and regulatory T cells in periodontal diseases. Symposium on Development of Oral Mucosal Immune Responses: Role in Health and Disease, 84th General session of the IADR, Brisbane, 2006. 6. 29.
- 3) 小野和宏, 林 孝文: 歯科医学教育へのPBLテュートリアル導入-新潟大学歯学部を試み-. 東北大学歯学研究科FD「歯科臨床ゼミ」実施にむけて-PBL授業の進め方とチューターの役割について-, 仙台, 2006. 3. 7.
- 4) 富沢美恵子: 口腔生命福祉学科の現状と課題. 平成18年度新潟歯学会第1回例会教授就任講演, 新潟, 2006. 7. 8, 新潟歯学会誌, 36, 293頁, 2006.
- 5) 富沢美恵子: シンポジウム「口腔保健学 未来への問いかけ」. 日本歯科技工学会第28回学術大会, 広島, 2006. 9.18, 第28回学術大会プログラム・講演抄録, 35頁, 2006.
- 6) 山崎和久: 教授就任講演『歯周疾患の病態形成における免疫機構の関与と全身疾患との関連』. 平成18年度新潟歯学会第1回例会, 新潟, 2006. 7. 8.
- 7) 山崎和久: 歯周疾患におけるT細胞機能と免疫制御. 大阪大学大学院歯学研究科21世紀COEプログラムCOEシンポジウム2006, 大阪, 2006.10.22.
- 8) 五十嵐敦子: ドライマウス. 第5回 更年期と加齢のヘルスケア研究会 学術会議東京, 2006.11.19, ラウンドテーブル [座長]
- 9) 八木 稔: フッ素の効果と安全性について, 平成18年度佐渡市フッ素洗口講演会, 佐渡市, 2006. 7. 7.
- 10) 勝良剛詞, 齋藤美紀子, 伊藤加代子, 五十嵐敦子, 林 孝文: 口腔乾燥症の超音波診断ワークショップ「唾液腺疾患の画像診断」第26回日本画像医学会, 東京, 2007.02.23-24.

【学会発表】

- 1) Kazama R, Kato K, Kasahara E, Fukushima M, Takenaka S, Okiji T: Effect of luting agents on microleakage of Zirconia crown copings. 84th IADR, 6.27-7.1, Brisbane, 2006.
- 2) Ogata M, Kazama R, Kato K, Hara Y, Kasahara E, Fukushima M, Takenaka S, Okiji T: Resin lining and spacer setting: Effects on CAD/CAM inlay adaptation, 84th IADR, 6.27-7.1, Brisbane, 2006.
- 3) Asai T, Kazama R, Kato K, Ogata M, Hara Y, Kasahara E, Fukushima M, Okiji T: CEREC 3 veneers: Influence of incisal edge preparation on adaptation/microleakage, 84th IADR, 6.27-7.1, Brisbane, 2006.
- 4) Hara Y, Kazama R, Kato K, Ogata M, Kasahara E, Fukushima M, Okiji T: Adaptation of ceramic restorations fabricated from new optical impression system, 84th IADR, 6.27-7.1, Brisbane, 2006.
- 5) Ishizaki H, Fukushima M: Long-term Enamel Wear at Sliding Contact Areas in Caries-free Dentition, 84th IADR, 6.27-7.1, Brisbane, 2006.
- 6) Sano T, Tomizawa M, Kajii Y, Noda T: Clinical studies of 23 cases of natal and neonatal teeth. 5th Conference of Pediatric Dentistry of Association of Asia, Kaohsiung Taiwan, 2006. 6.23-24, Abstracts: 86, 2006.
- 7) Mitomi T, Tomizawa M, Noda T: Application of a Castillo-Morales palatal plate in Riga-Fede disease: report of two cases. 5th Conference of Pediatric Dentistry of Association of Asia, Kaohsiung Taiwan, 2006.6.23-24, Abstracts: 102, 2006.
- 8) Okui T, Ito H, Honda T, Amanuma R, Yamazaki K: Functional analysis of the FOXP3⁺ T-cell line established from periodontitis tissues. Gordon Research Conference on Periodontal Diseases. Il Ciocco, 2006.6.9.
- 9) Nakajima T, Honda T, Okui T, Kajita K, Domon H, Amanuma R, Oda T, Ueki-Maruyama K,

- Ito H, Yamazaki K : Periodontal treatment improve the systemic CRP and proinflammatory cytokine levels. 84th General session of the IADR, Brisbane, 2006.6.28.
- 10) Honda T, Domon H, Okui T, Kajita K, Amanuma R, Yamazaki K: Balance of Inflammatory Response in Gingivitis and Periodontitis Lesions. 84th General session of the IADR, Brisbane, 2006.6.28.
- 11) Okui T, Ito H, Honda T, Amanuma R, Yoshie H, Yamazaki K : Functional Analysis of FOXP3⁺ T-cell Clones Established from Periodontitis Tissues. 84th General session of the IADR, Brisbane, 2006.6.28.
- 12) Domon H, Honda T, Oda T, Yoshie H, Yamazaki K : *Porphyromonas gingivalis* Lipopolysaccharide Enhances the Expression of IRAK-M in Macrophage. 84th General session of the IADR, Brisbane, 2006.6.28.
- 13) Shimada Y, Tai H, Kobayashi Tetsuo, Tabeta K, Yamazaki K, Ishihara Y, Noguchi T, Soga Y, Takashiba S, Kobayashi T, Oka A, Inoko H, Yoshie H : Genome association study of periodontitis using chromosome 19 microsatellite polymorphisms. 84th General session of the IADR, Brisbane, 2006.6.29.
- 14) Tabeta K, Du X, Sovath S, Mudd S, Honda T, Amanuma R, Maeda T, Yoshie H, Amizuka N, Yamazaki K, Beutler B : Seal, a Novel Mutation That Confers a Defect of Osteogenesis. 84th General session of the IADR, Brisbane, 2006.6.29.
- 15) Yamazaki K, Honda T, Okui T, Kajita K, Domon H, Nakajima T : Periodontal treatment improve the systemic CRP and proinflammatory cytokine levels. AAP/JSP 2006 Annual Meeting, San Diego, 2006.9.18.
- 16) Kajita K, Amanuma R, Okui T, Domon H, Honda T, Ito H, Tabeta K, Nakajima T, Yoshie H, Yamazaki K : Toll-like Receptor Family Expressions in Gingivitis and Periodontitis Lesions. 85th General session of the IADR, New Orleans, Louisiana, 2006.3.23.
- 17) Amanuma R, Honda T, Kajita K, Okui T, Domon H, Ito H, Tabeta K, Yoshie H, Nakajima T, Yamazaki K : Atherosclerotic Change of Blood Vessels in Periodontitis Patients. 85th General session of the IADR, New Orleans, 2006.3.23.
- 18) Stegaroiu R, Ejiri S, Sato T, Okumura N, Nomura S, Sato Y, Miyakawa O: Generation of 3D-finite element model with screw-implant by micro-CT techniques. New Orleans, 2007.3.23, J Dent Res 86, Special Issue A, program number: 2195, 2007.
- 19) Okumura N, Stegaroiu R, Kitamura E, Kurokawa K, Nomura S, Miyakawa O: Maxillary cortical bone thickness and stress around a posterior implant. New Orleans, 2007.3.23, J Dent Res 86, Special Issue A, program number: 2197, 2007.
- 20) Sakuma S, Yagi M, Miyazaki H: Availability of DIAGNOdent system for monitoring sound molars in schoolchildren. 85th General Session & Exhibition of the IADR, New Orleans, 2007. 3.23, CD-ROM of Abstracts, No. 1652, J. Dent. Res, 86, Special Issue : 2007.
- 21) Kazuhiro Ono: PBL at Niigata University, Faculty of Dentistry: " Student". 6th Asian-Pacific Conference on PBL at Tokyo Women's Medical University, Tokyo, 3.27, 2006. 6th Asian-Pacific Conference on PBL Program & Abstract : 70, 2006.
- 22) 朝日藤寿一, 小野和宏, 朝日藤寿一, 森田修一, 毛利 環, 高木律男, 寺尾恵美子, 幸地省子, 須佐美隆史, 倉林仁美, 岩田敏男, 館村 卓, 根来武史, 大塚純正, 齋藤 功: 日本における片側性唇顎口蓋裂治療に関する多施設共同研究 -Part 7 多施設共同研究の問題点について-. 第30回日本口蓋裂学会総会・学術集会, 白馬村, 2006. 5.25. 日本口蓋裂学会雑誌, 31 : 93, 2006.
- 23) 碓井由紀子, 小野和宏, 朝日藤寿一, 幸地省子, 高木律男, 齋藤 功: 二次的顎裂部骨移植の時期の違いが上顎骨の成長発育におよぼす影響について. 第30回日本口蓋裂学会総会・学術集会, 白馬村, 2006. 5.26. 日本口蓋裂学会雑誌, 31 : 164, 2006.
- 24) 竹山雅規, 宮城尚史, 中川麻里, 小野和宏, 齋藤力, 高木律男, 齋藤 功: 唇顎口蓋裂術後の矯正治療に関する臨床統計的調査 - 二段階口蓋形成法と一段階形成法との比較 -. 第30回日本口蓋裂学会総会・学術集会, 白馬村, 2006. 5.25, 26. 日本口蓋裂学会雑誌, 31 : 210, 2006.
- 25) 飯田明彦, 高木律男, 小野和宏, 永田昌毅, 寺尾恵美子, 児玉泰光, 小山貴寛, 小林孝憲, 奈良井省太: 二段階法における Furlow 法による軟口蓋形成術の術中・術後経過について. 第30回日本口蓋裂学会総会・学術集会, 白馬村, 2006. 5.25, 26. 日本口蓋裂学会雑誌, 31 : 219, 2006.
- 26) 児玉泰光, 小野和宏, 高木律男, 永田昌毅, 飯田明

- 彦, 福田純一, 碓井由紀子, 寺尾恵美子, 山中正文, 奈良井省太, 小林孝憲, 齊藤 力: 口蓋裂患者に対する上顎前方移動術が鼻咽腔閉鎖機能に及ぼす影響 - ナゾメーターを用いた客観的検討 -. 第30回日本口蓋裂学会総会・学術集会, 白馬村, 2006. 5.25, 26. 日本口蓋裂学会雑誌, 31: 224, 2006.
- 27) 小林哲夫, 魚島勝美, 中島貴子, 石崎裕子, 藤井規孝, 小野和宏, 宮崎秀夫: 情意領域評価としてのミニワークショップと面接の関連性. 第25回日本歯科医学教育学会総会, 仙台市, 2006. 6.16. 第25回日本歯科医学教育学会総会および記念大会プログラム・抄録集: 76, 2006.
- 28) 小野和宏, 大内章嗣, Stegaroiu Roxana, 八木 稔, 石川裕子, 隅田好美, 中島俊一, 五十嵐敦子, 黒川孝一, 鈴木 昭, 山崎和久, 福島正義, 富沢美恵子, 山田好秋, 前田健康: 問題基盤型学習による高度専門職業人育成カリキュラム (予報). 第25回日本歯科医学教育学会総会, 仙台市, 2006. 6.16. 第25回日本歯科医学教育学会総会および記念大会プログラム・抄録集: 82, 2006.
- 29) 小野和宏, 小林正治, 齋藤 力, 福田純一, 高木律男, 朝日等寿一, 竹山雅規, 齋藤 功: 唇顎口蓋裂の上顎歯列狭窄に対する骨延長法の応用. 第51回日本口腔外科学会総会, 北九州市, 2006.10.12. 日本口腔外科学会雑誌, 52 総会特別号: 51, 2006.
- 30) 韓 臨麟, 岡本 明, 石崎裕子, 福島正義, 興地隆史: 各種合着用セメントの歯質被着面に与える影響, 平成18年度春期第47回日本歯科理工学会学術講演会, 歯材器 25: 193, 2006.
- 31) 石崎裕子, 福島正義: コンポジットレジンによる補修修復の短期臨床評価. 日本歯科保存学会2006年度春季学術大会 (第124回), 神奈川, 2006. 5.25-26, 日歯保存誌, 49 春季特別号: 113, 2006.
- 32) 風間龍之輔, 福島正義, 竹中彰治, 興地隆史: 歯科用CAD/CAMにより製作されたジルコニアクラウンコーピングの辺縁封鎖性, 日本歯科保存学会2006年度春季学術大会 (第124回), 神奈川, 2006. 5.25-26, 日歯保存誌, 49 春季特別号: 115, 2006.
- 33) 武井典子, 藤本篤士, 福田 敬, 竹中彰治, 福島正義, 渋谷耕司, 岩久正明: 高齢者の口腔ケアに関する研究 ケアハウス入所者の口腔の健康とQOLの関連性. 第17回日本老年歯科医学会総会, 沖縄, 2006.6.1, 学術大会プログラム事前抄録集: 88, 2006.
- 34) 武井典子, 湯之上志保, 渋谷耕司, 福島正義, 岩久正明: 大手企業勤務者の口腔の現状に対する満足度について II 歯と口の健康づくりの現状と意識に関する調査. 第17回日本歯科審美学会学術大会, 東京, 2006.10.14-15, プログラム・抄録集: 41, 2006.
- 35) 浅井哲也, 風間龍之輔, 竹中彰治, 興地隆史, 福島正義: 新規ミリングバーにより製作されたCAD/CAM オールセラミック修復物の適合性について - Spacer セッティングが適合性に与える影響 -. 第17回日本歯科審美学会学術大会, 東京, 2006.10.14-15, プログラム・抄録集: 45, 2006.
- 36) 浅井哲也, 風間龍之輔, 竹中彰治, 福田 敬, 興地隆史, 福島正義: 歯科用CAD/CAM CEREC3 システムにより製作されたラミネートベニア修復物の辺縁封鎖性について, 日本歯科保存学会2006年度秋季学術大会 (第125回), 日歯保存誌, 49 秋季特別号: 115, 2006.
- 37) 風間龍之輔, 浅井哲也, 竹中彰治, 庭野和明, 興地隆史, 赤澤まりえ, 福島正義: 歯科用CAD/CAMにより製作された修復物の破折強度, 日本歯科保存学会2006年度秋季学術大会 (第125回), 鹿児島, 2006.11.9-10, 日歯保存誌, 49 秋季特別号: 116, 2006.
- 38) 韓 臨麟, 岡本 明, 興地隆史, 福島正義: 各種合着用レジンセメントに関する研究 - 歯質処理面, 接着界面およびフッ素の歯質への取り込み観察 -, 日本歯科保存学会2006年度秋季学術大会 (第125回), 鹿児島, 2006.11.9-10, 日歯保存誌, 49 秋季特別号: 225, 2006.
- 39) 尾添裕美子, 竹中彰治, 若松里佳, 興地隆史, 福島正義: デュアルホワイトニングの漂白効果について: 日本歯科保存学会2006年度秋季学術大会 (第125回), 鹿児島, 2006.11.9-10, 日歯保存誌, 49 秋季特別号: 231, 2006.
- 40) 若松里佳, 竹中彰治, 尾添裕美子, 興地隆史, 福島正義: 新規光重合型ホワイトニング修復システム (SI-R20209) の背景色遮断性能について, 日本歯科保存学会2006年度秋季学術大会 (第125回), 鹿児島, 2006.11.9-10, 日歯保存誌, 49 秋季特別号: 233, 2006.
- 41) 筒井 睦, 嘉藤幹夫, 大東道治, 富沢美恵子, 野田 忠: 障害児・者の歯科診療前後における色選択を用いた心理状態の把握. 第44回日本小児歯科学会大会, 松本, 2006. 5.26-27, 小児歯誌, 44: 296, 2006.
- 42) 筒井 睦, 富沢美恵子, 嘉藤幹夫, 大東道治, 野田 忠: 色選択と発汗量測定による障害者の歯科診療前後における心理状態について. 第23回日本障害者歯科学会総会および学術大会, 仙台, 2006.10.20-21, 障歯誌, 27: 506, 2006.
- 43) 奥井隆文, 伊藤晴江, 本田朋之, 天沼亮子, 中島貴子, 吉江弘正, 山崎和久: 歯周炎組織から樹立した

- CD4⁺CD25⁺T 細胞クローンの機能的解析. 第 39 回新潟歯学会総会, 新潟, 2006. 4.22.
- 44) 土門久哲, 小田太郎, 本田朋之, 吉江弘正, 山崎和久: *Porphyromonas gingivalis* lipopolysaccharide はマクロファージにおける IRAK-M 発現を増強する. 第 39 回新潟歯学会総会, 新潟, 2006. 4.22.
- 45) 中島貴子, 本田朋之, 奥井隆文, 梶田桂子, 土門久哲, 天沼亮子, 小田太郎, 植木一丸山薫, 伊藤晴江, 山崎和久: 歯周治療が血清中炎症関連マーカーに及ぼす影響 (第 2 報). 第 49 回春季日本歯周病学会学術大会, 市川, 2006. 4.28, 日歯周誌, 48 春季特別号: 101, 2006.
- 46) 梶田桂子, 吉江弘正, 山崎和久: ヒト歯根膜組織における幹細胞様細胞の正常解析. 第 49 回春季日本歯周病学会学術大会, 市川, 2006. 4.29, 日歯周誌, 48 巻春季特別号: 137, 2006.
- 47) 本田朋之, 土門久哲, 天沼亮子, 奥井隆文, 梶田桂子, 中島貴子, 工藤値英子, 西村英紀, 高柴正悟, 山崎和久: 冠動脈硬化症患者における動脈硬化症/歯周病関連マーカーの検討 (第 2 報). 日本歯科保存学会 2006 年度春季学会 (第 124 回), 横浜, 2006. 5.25, 日歯保存誌: 49, 36, 2006.
- 48) 天沼亮子, 本田朋之, 梶田桂子, 奥井隆文, 土門久哲, 伊藤晴江, 多部田康一, 吉江弘正, 中島貴子, 山崎和久: 歯周炎患者における動脈硬化度の評価. 第 49 回秋季日本歯周病学会学術大会, 大阪, 2006.10.20, 日歯周誌, 48 秋季特別号: 176, 2006.
- 49) 土門久哲, 本田朋之, 吉江弘正, 山崎和久: *Porphyromonas gingivalis* lipopolysaccharide はマクロファージにおける IRAK-M 発現を増強する (第二報). 第 49 回秋季日本歯周病学会学術大会, 大阪, 2006.10.20, 日歯周誌, 48 秋季特別号: 207, 2006.
- 50) 村田雅史, 山崎和久, 吉江弘正, 奥田一博: 広汎型侵襲性歯周炎に対して再生治療と歯周病原細菌のモニタリングを行った 1 例. 第 49 回秋季日本歯周病学会学術大会, 大阪, 2006.10.21, 日歯周誌, 48 秋季特別号: 229, 2006.
- 51) 藤沢直子, 鈴木昭, 馬場菜緒, 堀井愛子, 笠井友治郎: 児童相談所は地域に何を伝えるどのように連携していくか (第 2 報) - 形式知への作業をとおして役割分担を-. 日本子ども虐待防止学会, 仙台, 2006.12. 8, 日本子ども虐待防止学会第 12 回学術集会・みやぎ大会プログラム・抄録集: 26, 2006.
- 52) 鈴木昭: 10 月 23 日 17 時 56 分 中学生はどこにいたか - 被災体験集から見た地域における中学生の時点横断的日常生活の姿 -. 日本子ども家庭福祉学会 第 7 回全国大会, 東京, 2006. 6. 4.
- 53) 五十嵐敦子, 渡部守, 伊藤加代子, 船山さおり, 人見康正, 野村修一, 山田好秋: 味覚障害患者の臨床統計的観察. 老年歯科医学会, 沖縄 2006. 6. 1-2 第 17 回日本老年歯科医学会総会学術会議, 事前抄録集: 116 2006.
- 54) 船山 さおり, 伊藤加代子, 渡部 守, 人見康正, 宮崎秀夫, 五十嵐 敦子: 精神健康度と口腔乾燥に関する検討, 老年歯科医学会, 沖縄 2006. 6. 1-2, 第 17 回日本老年歯科医学会総会学術会議, 事前抄録集: 123, 2006.
- 55) 五十嵐 敦子, 渡部 守, 伊藤加代子, 船山さおり, 人見康正: 味覚障害患者 (自発性異常味覚) の唾液の味について——味覚センサーによる検討日本味と匂学会, 福岡市, 2006. 7.11-13. 第 40 回日本味と匂学会, 予稿集: 29, 2006.
- 56) 松木貴彦, 伊藤加代子, 葭原明弘, 五十嵐敦子: 女性における口腔の健康に関するアンケート結果 その 1, 女性外来における結果性差医療・医学学会, 東京, 2007. 2.10-11.
- 57) 隅田好美: 患者・家族・支援者における認識のズレと認識の一致— ALS 患者の病いの意味づけのプロセスより—, 日本社会福祉学会第 54 回大会発表, 埼玉, 2006.10. 7, 日本社会福祉学会報告要旨集: 405, 2006.
- 58) Sharmin F, Stegaroiu R, Okada N, Kitamura E, Nomura S, Miyakawa O: Failure resistance and failure mode after cyclic loading of teeth restored with two post and core systems. 新潟, 2006. 7. 8, 新潟歯学会誌 36: 297, 2006.
- 59) 中村 文, 佐久間汐子, 葭原明弘, 八木 稔, 出口友也, 宮崎秀夫: フッ化物洗口プログラムをベースとした選択的シーラント応用の 20 歳成人におけるう蝕予防効果, 第 55 回日本口腔衛生学会・総会, 大阪, 2006.10. 7, 日本口腔衛生学会雑誌, 56: 520, 2006.
- 60) 佐久間汐子, 八木 稔, 宮崎秀夫: 第一大白歯小窩裂溝の初期う蝕病変に対する DIAGNOdent, 視診および ECM による診断, 第 55 回日本口腔衛生学会・総会, 大阪, 2006.10. 8, 日本口腔衛生学会雑誌, 56: 591, 2006.
- 61) 黒川孝一, 八木 稔: フッ化物洗口事業に使用される医療用医薬品の開発に関する一考察, 第 55 回日本口腔衛生学会・総会, 大阪, 2006.10. 8, 日本口腔衛生学会雑誌, 56: 640, 2006.
- 62) Yagi M, Moral A A, Hossain M Z, Oyanagi H, Hoshino E.: Survey of dental caries status in children in a rural area in the People's Republic of Bangladesh. 7th Congress of Asian Academy of Preventive Dentistry, Okayama, 2006.11.30,

- Abstract Book, 48, 2006.
- 63) 森田芳和, 黒川孝一, 藤野悦男, 蓮見健壽: 埼玉県歯科保健モデル事業における歯周疾患とメタボリックシンドロームとの一考察, 65回日本公衆衛生学会総会抄録集: 874, 富山, 2006.10.27.
- 64) 大島勇人, 高森泰彦, 石川裕子, 大島邦子, 監物新一, Han-Sung Jung: 歯髄には象牙芽細胞および骨芽細胞への分化能をもつ細胞群が存在する. 第48回歯科基礎医学会学術大会・総会, 鶴見, 2006. 9. 21-23, J Oral Biosci, 48(Suppl): 117, 2006.
- 65) 勝良剛詞, 斎藤美紀子, 伊藤加代子, 船山さおり, 五十嵐敦子, 新国 農, 田中 礼, 平 周三, 小山純市, 西山秀昌, 林 孝文: 口腔乾燥症の超音波所見の特徴. 第47回日本歯科放射線学会総会・学術大会, 東京, 2006. 5.13-14, 歯科放射線 46, 84, 2006.
- 【その他】
- 1) 小野和宏: 教授就任のご挨拶. 歯学部ニュース, 平成17年度第2号(通算108号): 31-32, 2006.
- 2) 小野和宏: 教授就任のご挨拶. 新潟大学歯学部同窓会誌, 26: 8-9, 2006
- 3) 福島正義: 総務報告, 日本歯科審美学会 ニューズレター Vol 12, 2006 Winter
- 4) 福島正義: はるかなる5000年 エジプト展を楽しむ〈下〉ミイラの歯 砂まじりのパン食す, 2006年3月2日(木)新潟日報朝刊
- 5) 福島正義: 庶務報告: 歯科審美 19 (1), 53~54, 2006
- 6) 福島正義: 歯は白い? - 歯科審美学入門 -, 平成18年度新潟大学模擬授業『キミも新大生!』, 上越市社会教育館第1集会室, 2006. 8. 6.
- 7) 福島正義: 変色歯治療の20年間を振り返る - 変色歯外来の意義 - / ホワイトニングが広げる Total Esthetic ~メドレーセッション&トークショー~ / 松風シェードアップ発売一周年記念講演会1, 大手町サンケイプラザ4階ホール, 東京, 2006. 9.13.
- 8) 福島正義: 臨床再点検シリーズ / セメントとコンポジットレジンについて, 新窓会, ホテルイタリア軒, 新潟, 2006.10.21.
- 9) 福島正義: 白い歯で楽しく / あなたは歯を出して笑えますか - 変色歯によるストレスからの解放 -, 日本歯科保存学会公開市民講座 in 鹿児島, 鹿児島市勤労者交流センター多目的ホール, 鹿児島, 2006.11.11.
- 10) 山崎和久: 体をむしばむ歯周病. ひたちなか市歯科医師会 市民公開講座, 2006.11.12.
- 11) 山崎和久: 「歯周疾患と全身疾患」「歯周組織一破壊と再生の分子基盤一」. 加茂・見附歯科医師会学会, 2006.11.16.
- 12) 山崎和久: 「包括的歯周治療」. 平成18年度歯科臨床研修医セミナー, 新潟大学医歯学総合病院歯科, 2007. 1.31.
- 13) 鈴木昭: 「地域の福祉力を高めるために」. 新潟県社会福祉協議会 平成18年度福祉行政新任職員研修, 2006. 5.26.
- 14) 鈴木 昭: 「子どもの力 地域の力」. 新潟県青少年健全育成県民会議第41回総会記念講演, 2006.6.13.
- 15) 鈴木昭: 「日常から始まる虐待の防止 - 地域と児童相談所の協働・連携 -」. 柏崎市教育センター専門研修, 2006. 8. 4.
- 16) 鈴木昭: 「障害者の社会参加と自立支援」. 新潟県障害者社会参加推進センター 障害者相談員研修会, 2006. 9. 8.
- 17) 鈴木昭: 「母子生活支援施設入所中のDV被害者への支援」. 新潟県福祉保健部児童家庭課 平成18年度第3回新潟県配偶者暴力防止実務担当者会議, 2006. 9.12.
- 18) 鈴木昭: 「学校現場における子ども虐待の理解と支援」. 新潟県福祉保健部児童家庭課 / 新潟県教育庁義務教育課 教育関係者のための児童虐待防止セミナー, 2006. 9.21, 29.
- 19) 鈴木昭: 「虐待って なに? - 子どもの健やかな未来を願って」. 柏崎市市民のための子どもの虐待防止セミナー, 2006.11.11.
- 20) 鈴木昭: 「社会貢献活動体験研修に期待すること」. 新潟県教育センター平成18年度教職12年経験者研修(小・中・高・特), 2006.11.13, 15, 17, 21.
- 21) 鈴木昭: 「子ども虐待と発達」. 新潟心理学会市民公開講座, 2006.12. 5.
- 22) 鈴木昭: 「保育園・幼稚園における子育て支援 - 虐待予防の視点で -」. 新潟市平成18年度新津地区子ども虐待予防事業, 2007. 1.16, 22.
- 23) 鈴木昭: 「子どもの虐待予防について - 学校の役割と支援の実際 -」. 新潟市平成18年度新津地区子ども虐待予防事業, 2007. 2.19.
- 24) 鈴木昭: 「平成18年度社会福祉施設関係職員研究発表大会児童福祉施設関係 座長・講評・助言」. 新潟県社会福祉協議会平成18年度社会福祉施設関係職員研究発表大会, 2007.2.27.
- 25) 大内章嗣, 宮崎秀夫, 野村修一, 隅田好美, 伊藤加代子: 新潟大学公開講座介護予防のための「口腔機能の向上」入門講座, 「口腔清掃介助の実際(実習)」, 新潟, 2006.7.18.
- 26) 山田好秋, 隅田好美, 井上誠, 大滝祥子, 伊藤加代子: 食べる出版記念講演会, 介護における口腔ケアの実

際, 新潟, 2006.10.18.

- 27) 山田好秋, 磯野博, 別府茂, 道見登, 重田律子, 隅田好美: 平成18年度長寿科学総合研究 市民向け公開講座, いつまでも健康でおいしく食べよう—摂食・嚥下障害への取り組み—, 食べることは, 身体と心のエネルギー, 新潟, 2006.11.4.
- 28) 隅田好美, 石川祐子: 難病相談支援センター研修事業 ピアカウンセリング研修(入門), 同じ難病経験者だからできること—ピアカウンセリング—, 新潟, 2007.3.6-8.
- 29) 石川裕子: ピアカウンセリング研修会(入門) 悩みをわかちあうために—カウンセリング方法(入門). 新潟県難病相談支援センターピアカウンセリング研修会, 新潟, 2007.3.6-8.

総合診療部

【論文】

- 1) Yoshie H, Kobayashi T, Tai H, Galicia JC. The role of genetic polymorphisms in periodontitis. *Periodontol* 2000. 43: 102-132, 2007.
- 2) Kobayashi T, Ito S, Yasuda K, Kuroda T, Yamamoto K, Sugita N, Tai H, Narita I, Gejyo F, Yoshie H. The combined genotypes of stimulatory and inhibitory Fc receptor associated with systemic lupus erythematosus and periodontitis in Japanese adults. *J. Periodontol.* 78:467-474, 2007.
- 3) Yoshie H, Tai H, Kobayashi T, Oda-Gou E, Nomura Y, Numabe Y, Ito K, Kurihara H, Kamoi K. Salivary enzyme levels after scaling and IL-1 genotypes in Japanese with chronic periodontitis. *J. Periodontol.* 78: 498-503, 2007.
- 4) Hamada N, Watanabe K, Tahara T, Nakazawa K, Shibata Y, Ishida I, Kobayashi T, Yoshie H, Abiko Y, Umemoto T. The r40-kDa OMP human monoclonal antibody protects against *Porphyromonas gingivalis*-induced bone loss in rat. *J. Periodontol.* 2007, in press.
- 5) Zhang X, Niessner A, Nakajima T, Ma-Krupa W, Kopecky SL, Frye RL, Goronzy JJ, Weyand CM. Interleukin 12 induces T-cell recruitment into the atherosclerotic plaque. *Circ Res.* 98: 524-31, 2006.
- 6) Amanuma R, Nakajima T, Yoshie H, Yamazaki K. Increased infiltration of CD1d + and natural killer T cells in periodontal disease tissues. *J Periodont Res.* 41: 73-79, 2006.
- 7) 魚島勝美, 藤井規孝: 新潟大学歯学総合病院歯科における歯科医師臨床研修制度. 補綴臨床, 39, 2006.
- 8) 小林哲夫, 魚島勝美, 藤井規孝, 中島貴子, 石崎裕子, 小野和宏, 宮崎秀夫: 本院臨床研修歯科医採用試験におけるミニワークショップの効果. 日本歯科医学教育学会雑誌, 22: 281-288, 2006.
- 9) 韓 臨麟, 岡本 明, 石崎裕子, 福島正義, 興時隆史: フッ化物徐放性合着セメントに関する研究; 日歯保存誌, 49: 617-624, 2006.

【著書】

- 1) 小林哲夫: 第2章7免疫・アレルギー疾患 関節リウマチ『歯周病と7つの病気 8つのNEWS』(吉江弘正・高柴正吾 編著), 130-146頁, 永末書店, 京都, 2007年3月.
- 2) 小林哲夫: 第2編 第6章 遺伝的素因『臨床歯周病学』(吉江弘正・伊藤公一・村上伸也・申 基詰 編著), 198-203頁, 医歯薬出版, 東京, 2007年3月.
- 3) 渡邊清志(分筆): 歯科技工辞典 第1版第15刷, 医歯薬出版株式会社, 東京, 2006.

【商業誌】

- 1) 小林哲夫, 吉江弘正: 歯周炎の遺伝子診断 イラストで語るバイオサイエンス the Quintessence, 26, 3-5頁, クインテッセンス出版, 東京, 2007年.

【科研成果報告書】

- 1) 小林哲夫(代表): ゲノムワイド関連解析を応用した歯周病感受性遺伝子検索システムの確立 日本学術振興会科学研究費補助金研究(継続) 基盤研究B 課題番号16592065, 2007年3月.
- 2) 小林哲夫(分担): 日本人歯周病患者の遺伝子多型に基づく感受性検査および診断の確立 日本学術振興会科学研究費補助金研究(継続) 基盤研究A 課題番号16209062, 2007年3月.
- 3) 中島貴子(代表): T細胞-抗原提示細胞の多様な相互作用が歯周病の病態を決定するか? 日本学術振興会科学研究費補助金, 基盤研究(C) 課題番号16592066, 2006.

【講演・シンポジウム】

- 1) 小林哲夫: 歯周炎感受性における免疫グロブリンFc受容体の遺伝子多型と機能の解析. 第49回春季日本歯周病学会学術大会, 日本歯周病学会学術賞記念講演, 市川, 2006.4.28, 日本歯周病学会会誌, 第48巻春季特別号: 74-75, 2006.
- 2) 小林哲夫: リウマチと歯周病. 第34回日本リウマチ・関節外科学会, 市民公開講座, 新潟, 朱鷺メッセ, 2006.11.11, 日本リウマチ・関節外科学会雑誌,